

経営目標評価委員会 委員意見(団体別)

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都人権啓発センター

委員意見	
経営改革プラン （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	
平成29年度経営目標の 達成状況に関する 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都民講座については、参加率のみならず、アンケートなどで質の評価をするべきではないか。 ・ 職員提案については、提案の取組件数だけでなく、それらの取組がいかに生産性の向上や働き方改革につながったかを重視するべきではないか。 ・ 賛助会費については、退会者や新規加入者の経年比較を行い、課題を抽出し対策を講じることが重要ではないか。 ・ 普及啓発事業を進めるにあたっては、リピート率より、新規の層にいかにかアプローチしていけるかという視点で取組を進めるべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都島しょ振興公社

委員意見	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見</p>	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略①の取組事項については、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別に具体的に取り組む内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘリコピューターについては、キャンセル率が一部の区間で40%と極めて高く、ヘリ・コピューターの利用満足度を高めるためには、稼働率に着目すべきではないか。 ・ ヘリコピューターの運営に当たっては、キャンセル率の高さが本来なら乗れた人の機会損失につながっており、改善に向け所管局も含めた検討を急ぐべきではないか。 ・ 特産品の通信販売については、事業者がマーケットプライスに追いつくための努力を促すとともに、民業圧迫とならぬよう、事業の在り方を検討すべきではないか。 また、コストを固定費と変動費を分けて捉え、損益分岐点を超えるような売上とするために、どんな商品やブランドつくっていくかを考えるべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京税務協会

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年後の到達目標及び個別取組事項について、具体的な記述も追加されるなど概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、より具体化した新規事業や最適な組織体制、強みの活用について着実な検討を進め、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都民対象講演会への参加申込者数については、税に対する機会の促進という趣旨を踏まえ、リピーターの確保ではなく、新規申込者数の拡大についてより積極的に取り組んでいくべきではないか。 ・ 公益事業については、収入の増加だけではなく、支出の削減にも着目して更なる効率化を図っていくべきではないか。 ・ 都退職者をはじめとする税務実務経験者の採用減が懸念されるなかで、人材確保に向けたより一層の努力・工夫が必要になるのではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都歴史文化財団

委員意見	
経営改革プラン（最終Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点などについて追記される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後は、定量的な分析も踏まえたより一層の課題把握を求める。
	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、各施設の独自性を発揮した事業展開について、経営戦略に反映していくことを求める。
	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な記載の削除などの修正がなされたが、3年間の取組事項については、年度別の取組がメリハリのある記載とはいえないため、修正することを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・経営指標としては適さないツイッターフォロワー数ではなく、ターゲット層へのアプローチや、費用対効果を加味した指標へと移行すべき。
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が総じて従来事業の延長的な設定にとどまっており、かつ、各館の実績を合算した総合値を指標としている。今後は、各館別の満足度や収益等の分析を行ったうえで、各館ごとの経営目標や指標の設定を行っていくことが重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都交響楽団

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点などについて追記される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、プランに掲げる取組の進捗状況等を確認した上で、定量的な分析も踏まえたより一層の課題把握をしていくよう求める。 <p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他の取組事項についても、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別の取組内容を十分に精査し、更にメリハリをつけた記載にすることを求める。なお、経営戦略⑤の取組事項については、年度別の取組がメリハリのある記載とはいえないため、修正することを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・年間入場者数を更に向上させるためには、公演当日に来場できなくなった事前購入席の活用など、海外の事例等も参考に改善策を検討する余地があるのではないか。 ・HPアクセス件数は経営指標として適さないことから、ターゲット層へのアプローチや、費用対効果を加味した指標へと移行すべきではないか。 ・効率的な事務局運営については、管理費自体ではなく、増減率や一人当たりの視点を踏まえた指標へと移行すべきではないか。 ・コストを考えるにあたっては、管理費だけでなく、事業費をどのように効率化するかといった視点も重要ではないか。 ・東京を代表するオーケストラとして、更なる事業形態や戦略についても具体的に検討・打ち出していく必要があるのではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都スポーツ文化事業団

委員意見	
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略⑤の取組事項については、具体的な記述も追加される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<p>個人利用施設における障害者利用者数については、個別施設の状況の把握が重要であることから、各施設ごとの利用者数についても評価していくべきではないか。</p> <p>体育施設稼働率（団体利用）については、特殊要因（休館中の施設の影響等）を除く前の数値を示し、特殊要因にいかに対応していくかという視点を持つことが期待される。例えば、工事期間を短縮し、合理化していくためにはどのような工夫が必要か等について、局に対して提案・要求していくべきではないか。</p> <p>スポーツの普及・振興に係る自主運営事業の実施事業数については、自主事業の意義等を説明する上で、1事業あたりの定員に対する参加者数の状況についてもあわせて評価すべきではないか。</p> <p>また、都の予算の拡充に比例して増加するという性質の指標であり、経営指標として適さないことから、今後は参加者の満足度や参加率、倍率といった指標で目標を設定するなど、アウトカムを意識した指標設定が必要である。</p> <p>埋蔵文化財に係る体験教室及び出前授業等連携事業数については、都の予算の拡充に比例して増加するという性質の指標であり、経営指標として適さないことから、今後は参加者の満足度や参加率、倍率といった指標で目標を設定するなど、アウトカムを意識した指標設定が必要である。</p>

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （一財）東京マラソン財団

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略①の取組事項については、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別に具体的に取り組む内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者満足度については、更なる満足度の向上も重要であるが、それ以上に、不満足の中身について属性ごとのクロス分析等により深めていくべきではないか。 ・ ONE TOKYO会員数については、全体の分析にとどまらず、有料・無料会員別など、より詳細に区分し、それぞれへの自助努力と合わせて分析していくべきではないか。 ・ 団体の収支を捉える上で、収入・支出の両面から、それぞれの構成要素に掘り下げて分析することが重要である。特にコストの分析にあたっては、経常的な経費の部分の効率化と、今後必要となる投資とを分けて将来を見通す視点が重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都都市づくり公社

委員意見	
経営改革プラン（最終・Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略③⑤の取組事項にある道路、管きよの効率的な整備については、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別に重点的に取り組む内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 污水管・雨水管布設延長については、合計値としては目標を上回っているものの、10自治体中4自治体において目標未達となっていることから、今後は自治体ごとの進捗の把握・分析の視点も加えていくべきではないか。 　なお、多摩地域において団体が受託している下水道事業の赤字は、大きな経営課題であることから、引き続きその課題解決に向けたあり方について見直しに向けた検討が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間超勤時間数については、抜本的な仕事のやり方等にも着手し、働き方改革を進めていく必要があるのではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： 東京都住宅供給公社

委員意見	
経営改革プラン（最終Ⅱ・Ⅲ）に対する 委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点や団体が置かれている状況の分析を行っており、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後の団体を取り巻く状況の変化等を踏まえながら、課題の更なる分析検討を進め、反映していくことを求める。
	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、戦略達成に向け、どのような方法で進めていくかを更に明確化していくことを求める。
	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略①の取組事項については、今後、築年数別や地域別等の分析結果も踏まえて、重点的に取り組む内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の事業に関する目標設定も重要であるが、団体として大きな資産を抱えている以上、エリア別などを含めた稼働率や単価などについて経営指標として設定すべきである。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人員や売り上げが増加し、事業が拡張している組織であることから、仕事のやり方・生産性、顧客サービスの向上が重要であり、民間企業との比較の視点も踏まえ、質的な向上を進めていくことが必要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都環境公社

委員意見	
経営改革プラン（最終Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注力する課題の絞り込みが行われる等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後の団体を取り巻く状況の変化等を踏まえながら、課題の更なる分析検討を進め、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・所管局とも検討・調整したうえで、自主事業だけではなく局からの受託事業を含め、セグメント・事業分野別に、団体の経営課題を踏まえたアウトプット・アウトカム指標を設定していく必要がある。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都福祉保健財団

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な記述も追加されるなど概ね委員意見を踏まえた記載となったが、経営戦略②の個別取組事項については、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の権利擁護に取り組む人材の育成については、実施時期や回数、周知方法の改善を図るとともに、研修受講に向けた動機づけ・インセンティブ等の取組が必要ではないか。 ・研修等の事業実施にあたっては、実務未経験の潜在的有資格者の掘り起しなど、未経験者にいかにアプローチしていけるかという視点で取組を進めるべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都医学総合研究所

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する 委員意見	
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界へ向けた最新の研究成果の発信について、論文の寄与度は年度によっての上下が大きいため、単年度の目標としては適当ではないのではないかと。 ・ 経営目標の設定に際しては、団体の経営課題と個々の研究員が担う努力内容とが混在しているように見受けられる。今後の目標管理に当たっては、両者を切り分けて、団体にとっての経営課題が何であるかを改めて考えるべきではないかと。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）城北労働・福祉センター

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な記述も追加される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・山谷地域を取り巻く環境変化や、NPOや地域のステークホルダーの存在を踏まえ、中長期的な視点でセンターの将来像を考慮し、それに向けた経営課題を検討していくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都社会福祉事業団

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な記述も追加される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保に向けては、これまでどおりの連続的な対応だけでは対処できない段階に来ていると見受けられる。今後は、事務費削減を図りつつ、人材確保・育成に向けた教育研修等の必要な投資を検討していくべきではないか。 ・施設ごとに性質が異なる状況を踏まえ、各施設別の満足度等の分析を行ったうえで、施設ごとの経営目標・評価を行っていくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都保健医療公社

委員意見	
経営改革プラン （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な記述も追加される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。あわせて、各取組事項と到達目標との繋がりを、より明確にしていくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車搬送患者数について、地域住民に信頼される安全・安心な救急医療の提供に向けて、救急受入要請を断らざるを得なかった事例がどのようなものであるかを分析し、改善策を検討していくことが重要ではないか。 また、「断らない救急」というメッセージは都民にとっても重要で、その意味では、応需率は適切な指標の一つではないか。 ・薬品費対医業収入について、薬品費削減の視点と、医療水準確保という視点の両立を図りながら、6病院1センターを有するスケールメリットを活かして、医療の質を担保しながら効率的な事業運営を目指していくことが重要ではないか。 ・傘下の病院全体に対する実績値としては目標を達成しているものの、各病院単位で見ると未達となっているところもあることから、今後は病院ごとの経営目標・評価を行っていくべきではないか。 ・地域の中核病院として、誰もが身近な地域で適切な医療が受けられる体制を提供し続けるため、質の高い医師の確保・育成を、中長期的な経営課題として検討していくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都中小企業振興公社

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね委員意見を踏まえた記載となったが、経営戦略③や④について、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、重点的に経営資源を活用していくものが何であるかがわかるよう、今後の経営戦略に反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ハンズオン支援対象企業を拡大する際、どのような会社を顧客として掘り起こしたかを分析し、メリハリをつけることが重要ではないか。 利用者満足度はすでに高水準にあるため、不満足意見を分析し、更なるサービスの見直し等を検討していくことが必要ではないか。 職員提案の業務改善テーマについては、テーマ数ではなく、生産性や働き方改革など、現在の公社の状況に合わせた指標を設定し、それがどのような具体的な数字に結びついたのかを掘り下げていく必要があるのではないか。 予算・人員が上向きであり、事業が拡大している組織であることから、今後は、人の質に関する指標（例、プロパーの専門人材の比率、スキルの向上）の目標設定も検討していく段階にあるのではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京しごと財団

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね委員意見を踏まえた記載となったが、経営戦略⑤（現：④）の取組事項について、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更なる工夫・改革の取組を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度自体はすでに高水準にあるため、今後は、苦情等を類型化して分析し、苦情をいかに減らしていくか等の目標設定も検討すべきではないか。 さらなる管理運営経費の効率化を図るため、今後は、ワーク・ライフ・バランスを勘案した実績評価が必要ではないか。 アンケート調査の詳細分析等を行い、サービスを知らない人へのアプローチを検討していく必要があるのではないかと。また、団体としての特徴を打ち出せていないことから、ハローワークや民間企業等も含めた競合環境にあることを念頭に、競合他社との役割分担や自社の強みを分析した上で、戦略・目標設定を考えていく必要があるのではないかと。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都農林水産振興財団

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、経営戦略③や⑤について、重点的に活用する経営資源を明確にし、反映していくことを求める。
	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略③～⑤の取組事項について、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、事業の見直しなどを踏まえ、取組内容を、より具体化していくよう求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ HPアクセス件数は経営指標として適さないことから、ターゲット層へのアプローチや、費用対効果を加味した指標へと移行するべきではないか。 また、広告展開については、費用対効果も含めて分析・検討していくべきではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林循環促進事業（伐採予定契約面積）については、一般的に予算の増加と連動して大きくなる指標であるため、今後は、コスト面も含めた実績値のとらえ方を検討していくべきではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理費の節減については、管理費自体ではなく、増減率や一人当たりの視点を踏まえた指標へと移行すべきではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管局とも検討・調整したうえで、大きなセグメント・事業分野別に、団体の経営課題を踏まえた本質的・具体的なアウトプット・アウトカム指標を設定していく必要がある。その上で、情報公開の推進、研究員の育成等、抽象的な目標が多い現在の経営改革プランの今後の見直しに反映していただきたい。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京観光財団

委員意見	
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する 委員意見	
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<p>・ユニークベニューの利用件数については、単年度ではなく、複数年度で比較すべき指標であるため、今後は、経年比較をしていく必要があるのではないか。</p> <p>・全体として、予算を投入した事業の結果を精査し、次の事業展開の参考とすべきではないか。例えば、予算を投入した広告媒体ごとのパフォーマンスについて分析し、次の広告展開に活かすべきではないか。</p> <p>・所管局とも検討・調整したうえで、自主事業だけではなく局からの受託事業を含め、セグメント・事業分野別に、団体の経営課題を踏まえたアウトプット・アウトカム指標を設定していく必要がある。</p>

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京動物園協会

	委員意見
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略②④⑥の到達目標に掲げている満足度向上については、今後、2018年度の調査結果を確認した上で、具体的な目標値を掲げ、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 29年度は入園者数が大幅に増加し、収入も増加しているものの、その効果は一時的なものであり、いずれ収束することを考慮して、今後は、処遇の改善や研究費の確保等のためにも、コスト構造や自主事業の在り方をあらためて分析、検討することが必要ではないか。 ・ 団体の成長戦略を描く上で人材育成が重要であり、派遣職員比率の削減施策や優秀な人材確保に向けた取組を充実させていくべきではないか。 ・ 満足度調査の結果について公開予定とのことであるが、調査結果を今後の改善につなげることが重要であるため、苦情・要望等集めたデータを各園館別に分析し、指標として設定するなどし具体的な改善策の実施をより一層進めていくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都公園協会

委員意見	
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略②について、今後の団体を取り巻く状況の変化等も踏まえながら、必要とされるスキル分析とそれに応じた人材確保の視点から、更なる検討を進め、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・満足度の向上よりも、苦情・要望を分析し、不満要因をなくす取組に重点をシフトするべきではないか。また、課題を抽出しやすいように、アンケートの質問項目の見直しを検討すべきではないか。 ・都民から外出先として公園が選択されるような付加価値を創出することが重要である。単に入園者数を目標とするのではなく、企画力・マーケティング力を表す指標を検討すべきではないか。 ・災害時に防災公園として機能することが重要であるため、防災公園に対する都民の認知度や親密度を指標として検討すべきではないか。 ・収益事業については、収益額ではなく収益率等で評価することも重要であるため、目標設定する際は収益の確保や改善策について考慮すべきではないか。また、公園ごとのコンセプトを明確にし、コンセプトや地域特性等を踏まえた店舗開発・商品開発等をすべきではないか。 ・公園を維持管理するだけでなく、民間のアイデアの活用や連携を大前提に、より魅力ある公園のあり方等について局に提案できるよう、公園の持つポテンシャルを把握し、周辺も含め何に投資していくべきかを整理し、今後の指標設定に反映していく必要がある。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京都道路整備保全公社

委員意見	
経営改革プラン（最終Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の団体を取り巻く状況の変化等も踏まえながら、重点化する取組等の更なる検討を進め、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、目標を更に具体化していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路用地等の取得については、金額や面積、困難度等が異なることを踏まえ、件数だけでなく重要度や優先度を踏まえて多面的に分析できるようにすべきではないか。 ・ 講習会事業については、アンケートの満足度の結果だけでなく、抽出された課題を認識して対応することが重要であり、経営改革プランの見直し等の際に考慮すべきではないか。 ・ 駐車場事業の利益率については、民間事業者や業界平均と比較しなければ正確な評価ができないことを踏まえ、オートバイや大型バスは民間事業者の参入が難しい分野であれば、一般車両の駐車場のみを対象として評価したほうがいいのではないか。また、駐車場の稼働率、利益率に関しては、過年度平均にとどまらず、民間・業界平均等も意識しながら、高いレベルで目標を設定していくべきではないか。 ・ 駐車場事業については、公益性の観点から大型バスやオートバイなどの用地確保を進めていくのであれば、公社のミッションと現実の差を問い直し、民間駐車場の活用や連携など、ミッション達成に資する事業形態のあり方についても柔軟に考えていくことが必要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （公財）東京防災救急協会

委員意見	
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略③については、今後の東京消防庁での検討状況も踏まえたうえで、委員意見を十分に踏まえた戦略を検討し、反映していくことを求める。
達成状況に関する委員意見	<p>【取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略②と③については、今後の東京消防庁での救命講習に関する検討状況も踏まえ、防災館への誘導等それぞれの事業が連動する流れを促進する取組事項を検討した上で、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> 博物館・防災館の来館者の満足度については、「会社団体」以外へのアプローチが弱いとの分析も踏まえ、情報発信方法の見直し等、アンケートの分析を踏まえた対応が必要ではないか。 応急手当の実施に向けた自信度調査が、受講者の特性等により左右され、団体の努力を把握することが難しいことを踏まえ、目標設定に際しては、そのような点についても考慮し検討すべきではないか。 来館者一人当たりの事務経費については、入館者と事務費の2つの側面を持つ指標であることから、数値目標を設定する際は、独立した指標となるように考慮した上で設定すべきではないか。また、修繕費は団体努力が反映しづらいため、経年変化を正確に見るために事務費削減の目標設定から外すべきではないか。 団体の収支を捉える上で、収入・支出の両面から、それぞれの構成要素に掘り下げて分析することが重要である。特にコストの分析にあたっては、経常的な経費の部分の効率化と、今後必要となる投資とを分けて将来を見通す視点が重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （株）東京スタジアム

委員意見	
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点については追記されたが、今後、プランに掲げる取組の進捗状況等を確認した上で、定量的な分析も踏まえたより一層の課題把握をしていくよう求める。 <p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略①や②の取組事項については目指すべき水準について追記される等、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別の取組が更にメリハリがついたものになるよう十分内容を精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・新規事業誘致件数の増加が、収益の増加に寄与したかどうかを分析し、評価していくべきではないか。 <p>・HPについては、速やかに詳細なアクセス分析を実施し、効果的な情報発信へとつなげていくことが重要ではないか。 一方で、HPアクセス件数は経営指標として適さないことから、ターゲット層へのアプローチや、費用対効果を加味した指標へと移行するべきではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の収支を捉える上で、収入・支出の両面から、それぞれの構成要素に掘り下げて分析することが重要である。特にコストの分析にあたっては、コストを固定費と変動費に分けて捉えるとともに、経常的な経費の部分と、今後必要となる投資とを分けて将来を見通す視点が重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： 多摩都市モノレール（株）

委員意見	
経営改革プラン （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更にメリハリが ついたものになるよう、年度別の取組内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全確保に関する経営目標としては、障害件数自体ではなく、現場の作業の怪我やヒヤリ・ハット、下請の業務関係などの指標を設定していくべきではないか。 ・ 大規模改修については、発注時期や労務単価、工期等について事前に十分なりサーチを行い、入札不調を未然に防ぐ手立てを講じる必要があるのではないか。 ・ 沿線の活性化という目指す姿に向けた方策がイベント実施に偏っているため、今後は、他の観点からの施策の充実を検討するべきではないか。 ・ 設備投資の比較を行う際は、予算値、自助努力による改善値、特殊要因によるプラス・マイナスを分けて比較を行う必要があるのではないか。 ・ 収益の確保に向け、沿線のさまざまな施設等との連携や、ターゲットを明確にして乗車人数を上げていくような取組を戦略的に進めていくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： 東京臨海高速鉄道（株）

委員意見	
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、更にメリハリがついたものになるよう、年度別の取組内容を十分に精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2020東京大会競技会場最寄駅における施設整備進捗率については、情報公開という意味合いにおいても、コスト対比の進捗率についても丁寧に説明していく必要があるのではないか。 ・ 主要事業である輸送事業は、沿線地域の開発やオリンピック・パラリンピック等外部要因の影響が大きく、営業収益の変動が予想される。そのような環境下において、コスト削減等を含めてどのように安定した当期利益を確保し、自己資本比率を高めていくのが経営上重要な指標となるのではないか。 ・ 車両の仕様や安全対策等、引き続き高いレベルが求められることを踏まえ、十分に資金を確保しておく必要があることを対外的に説明できるように準備しておくことが必要ではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （株）多摩ニュータウン開発センター

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略③④の取組事項は類似しているため、今後の進捗状況を確認した上で、一体的な取組として統合していくことができないか、十分な検討を求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要事業収入は、テナント入居率や駐車場一般車回転率といった他の指標の結果に大きく影響されるので、指標ごとの独立性が確保されていない。今後、経営改革プランの見直し等の際は、指標の独立性を留意の上、設定する必要があるのではないか。 ・ 大規模修繕に必要な資金の確保と債務償還の両立が団体の大きな課題であるが、経営改革プランの戦略的課題に設定されていないことから、見直しの際に検討すべきではないか。 ・ 大規模修繕、人材活用、ビルの魅力向上、にぎわいづくり等、多くの経営課題を抱えているが、将来の債務返済を見据え、必要な利益・キャッシュフローが確保できるかという視点から、会社経営を考えていくことが重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （株）東京国際フォーラム

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略①の取組事項については、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、前倒しできる取組がないか等十分に精査し、よりスピード感を高めていくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・主要6ホール日数稼働率は、営業収益に直結する指標であるため、稼働率と貸出単価を合わせて推移分析をしていくことが必要ではないか。 ・国際会議誘致実績は、単年度ではなく、複数年度で比較すべき指標であるため、今後、経年比較をしていく必要があるのではないか。 ・グローバル都市におけるMICE施設としての立場を主軸としながらも、地域貢献や集客施設としての立場の妥当なバランスを考え、目標設定に繋げていく必要があるのではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （株）東京臨海ホールディングス

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点の追記など概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後は、団体を取り巻く状況の変化等を踏まえながら、他の持ち株会社との違い等を十分に精査し、団体の経営課題をより一層精査していくことを求める。
	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、グループを超えて地域一体で取り組む新たな枠組づくりなど、より改革の視点を踏まえたものを今後の経営戦略に反映していくことを求める。
	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略④や⑤の取組事項について、今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、さらなる工夫・改革の取組を着実に検討し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿に向けた方策に掲げたエリアマネジメントに照らして、具体的な取組をどのように進めていくのかを検討する必要があるのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・債務の着実な返済と事務の共通処理を超えた会社の存在意義を問い直し、エリアマネジメント等のミッションを着実に実行していく戦略と体制を構築し、今後の経営改革に確実に反映していくべきである。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

29

東京交通サービス（株）

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略②の取組事項については、2018年度の進捗状況を確認した上で、全体的な目標を見据えて規模拡大のペースを上げる等、よりスピード感を高めていく事を求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する 委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心の確保に向けては、現場の作業の怪我やヒヤリ・ハット、下請の業務関係や離職率など、経営そのものにかかわる本質的な指標を目標として設定していくべきではないか。 ・都営交通モニターに基づく満足度評価は、団体だけの努力では改善することが難しい側面もあると想定されるため、指標としてふさわしくないのではないか。 ・資格取得件数を指標とするのであれば、社内資格の取得を除いて目標設定・評価していくべきではないか。 ・事業の効率的な執行については、管理費だけではなく事業費をどう効率化していくかを目標として設定していくべきではないか。 ・局からの依頼を単に受ける受託会社にとどまることなく、中間的な組織として団体の付加価値を高めていくことが重要であり、局に対して積極的な提案を行うなど、バリューエンジニアリングの視点に立って、経営改革に係る指標を検討・設定していく必要がある。 ・管理会計的なマネジメントを推進し、セグメント別の分析を詳細に行った上で、今後の経営指標としていくことが重要である。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： 東京水道サービス（株）

委員意見	
経営改革プラン（最終） （分類Ⅱ・Ⅲ） に対する 委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略①について、今後、取組を進めながら生じた課題等も踏まえながら、更なる工夫・改革を経営戦略に反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の 達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故発生の抑制については、件数だけに注目するのではなく、事故をきっかけとして経営品質の向上やコストの低減、作業段取りの見直しやルールの変更など、チャンスとして活かせるよう事故の分析を進めていくべきではないか。 ・ 株式会社として、プロジェクト別の原価計算やセグメント別の収支構造の把握を行った上で、今後の指標設定に活かしていくべきではないか。 ・ 局からの依頼を単に受ける受託会社にとどまることなく、中間的な組織として団体の付加価値を高めていくことが重要であり、局に対して積極的な提案を行うなど、バリューエンジニアリングの視点に立って、経営改革に係る指標を検討・設定していく必要がある。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： （株）PUC

	委員意見
経営改革プラン（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の背景となる問題点や団体が置かれている状況の分析を行っており、概ね委員意見を踏まえた記載となったが、今後、団体を取り巻く状況の変化等も踏まえながら、着実に経営課題の分析を行い、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の新規受託については、件数にのみ着目するのではなく、会社全体の利益に占める自主事業の割合や、毎年の伸びなどを目標として設定するべきではないか。 ・今後は、プロジェクト別の原価計算やセグメント別の収支構造の把握・分析し、経営指標としていくことが重要。 ・業務や人員が増加しているものの、スケールメリットが発揮されていないように見受けられる。生産性の向上について、より一層検討するべきではないか。 ・都以外からも受注できているIT分野については、今後、更なる成長に向けた設備投資や人材投資を行うといった経営判断の検討、経営指標への反映を進めていくべきではないか。

経営目標評価委員会委員意見（団体別）

団体名： 東京都下水道サービス（株）

	委員意見
経営改革プラン（最終）（分類Ⅱ・Ⅲ）に対する委員意見	<p>【経営戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、2018年度の進捗状況を確認した上で、戦略達成に向け、どのような方法で進めていくかを詳細に示す等、更に明確化していく事を求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<p>【個別取組事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略②の取組事項については、今後の事業内容の進展等を踏まえた検討を着実に進め、更に具体化していくことを求める。また、経営戦略①④⑤⑥の取組事項全般について、2018年度の進捗状況を確認した上で、年度別の取組が更にメリハリがついたものになるよう十分内容を精査し、反映していくことを求める。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故の背景には、段取りの非効率、無駄な業務、無理な仕事などが隠れていることが多く、事故をきっかけにそれらを分析・改善につなげれば、事故を減らせるだけでなく、生産性、収益の改善につながるのではないかと。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術開発によるコスト削減について、コスト削減に関わらない特許料収入が加味されており、表現として正確なものとなっていないことから、今後は、成果指標と内容がリンクするように留意するべきではないかと。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資格取得率の向上については、何年間で何%を目指すかなど、明確な目標を持ち推進するべきではないかと。
平成29年度経営目標の達成状況に関する委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、局からの依頼を単に受ける、もしくは外注するのではなく、中間的な組織として団体の付加価値を高めていくことが重要であり、現場の技術者が局への提案を積極的にする等、バリューエンジニアリングの視点に立って、経営改革に係る指標を検討・設定していく必要がある。